

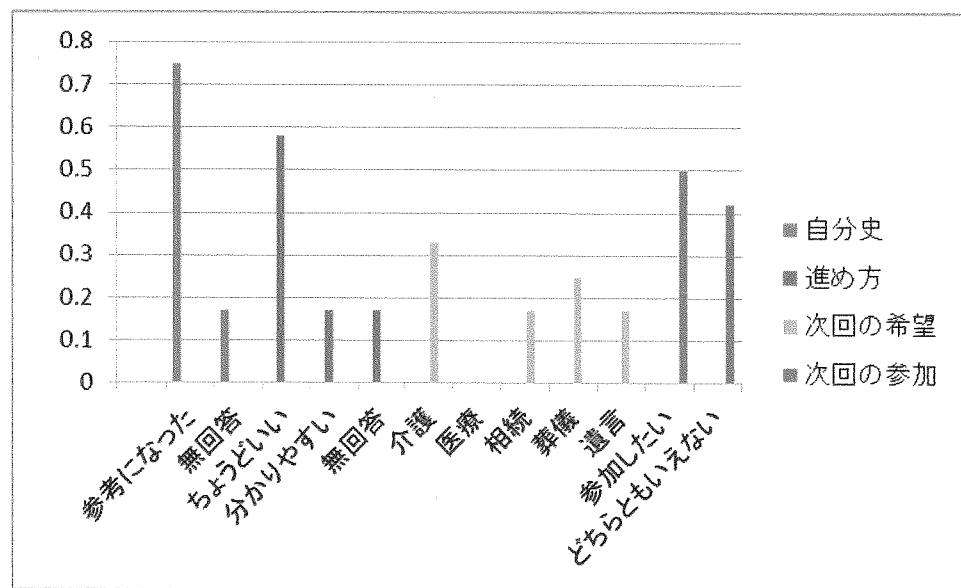
参考様式（別記様式第4号に添付する事業実績書（当該年度分））

事業の名称	終活を考える、趣味の手づくりとフリーマーケット事業
実施内容	<p>活動内容（いつどこで何をしましたか？）</p> <p>-----</p> <p>※準備を含め、実施した活動の日時、内容、場所、参加人数等を記載してください。</p> <p><b>1. 「想いをカタチに自分史」書き方講座</b>          日時：平成29年8月22日（火） 10時15分～11時45分          場所：上名寄おうるにて          参加対象者：上名寄老人クラブ 参加人数：12名</p> <p><b>2. 「想いをカタチに自分史」書き方講座</b>          日時：平成29年8月23日（水） 13時15分～14時45分          場所：下川町福祉センターハピネス 大広間にて          参加対象者：中央老人クラブ 参加人数：28名</p> <p>内容：自身の年表を書き込み形式で作成していく作業をしていただいた。</p> <p>① 「私のこと・履歴」生年月日、出生地、学歴、職歴など。          ② 「結婚」家族の名前、生年月日」など、その中で「一番心に残っていること」などを書き入れていくこと。          ③ 「配偶者、子ども、」「幼いころの自分の思い出」から「現在の自分」までを写真を添付できるようにし書き込みをしていただく。これは、時間の関係上説明だけにして進めた。          ④ 「趣味・好み・こだわり」について記入する。          ⑤ 「親族・友人・大切な人」記入。          ⑥ 自分自身について「性格・生活習慣・体・健康・持病・かかりつけ病院」について記入。          ⑦ 「延命治療」について自身の考えを記入していただいた。</p>
	<p>参加者の反応や主な感想</p> <p>-----</p> <p>※聞き取りやアンケート等による参加者の反応や主な感想を記載してください。</p> <p><b>1. 上名寄老人クラブでの感想</b></p> <p>皆さん熱心取り組んでいただきました。教育委員会をとおしての講座でしたが、参加者の12名方々は、今日おこなわれる内容のことも良く知らされていなかった様子でしたが、声かけをさせていただいたところ快く応じてくださり開催の運びとなりました。</p> <p>上名寄老人クラブは、麻雀が盛んに行われているためか、皆さんの飲み込みが早</p>

く、スムーズな運びで、進めることが出来ました。思い出し作業は、満州での空襲話しや、戦死した父親や兄弟の話、子どもの頃の遊びは「ケンパ」だったと話していました。また、嫁入りは馬に乗って嫁ぎ先へ行き、その次の日から野良仕事だったと懐かしそうに話していただきました。そうした貴重な体験を聞かせていただき、この自分史に書き残すことが出来ました。お最後に「次は、いつやるの?」と聞いていただけただけは、とても嬉しいことでした。「また、呼んでいただければ来たいと思います。」と答えさせていただきました。

**アンケート結果 回収率 91.6%**

- ▲年齢：①80代以上 (7人) 58% ②60代 (3人) 23% ③70代 (1人) 8%
- ▲感想：①参考になった (9人) 75% ②無回答 (2人) 17%
- ▲次回の希望 (複数回答あり)：①介護 (4人) 33% ②葬儀 (3人) 25%  
③相続 (2人) 17%、遺言 (2人) 17%
- ▲進め方：①ちょうどいい (7人) 58% ②わかりやすい (2人) 17%、無回答 (2人) 17%
- ▲次回の参加：①参加したい (6人) 50% ②どちらともいえない (5人) 42%



**2.中央老人クラブでの感想**

人数が多かったので大変でした。

尋常小学校卒ということで、平均年齢も高かったようです。90歳以上の方もおられたようですが皆さん、一生懸命について来てくださったので高齢とは、気が付きませんでした。

思い出し作業の中で「書きたくない」「思い出したくない」とおっしゃっていた方がいました。いいことも、悪いことも書き残すことが人生の整理につながり、こ

れからの生き方の道標になると考えていましたが、過去を忘れることで、生きてこられた方がいるということを教えられました。しかし、中には、「自分の生きて来た人生を考えてもいなかった。」「いい機会になった。」とか「今日は、ひさびさに頭を使った。」「これ、何処でやってるの？」などの声もありました。また、「話すことはできるけれど、書くのは難しい。」ともおっしゃる方もいました。書くことが大事なのですが時には、聞き取りで書いていくという方法をとった方がいい場合もあると言うことが今後の勉強になりました。私の自身の感想ですが、一生懸命に書いている方は、漠然としていたがこと新鮮に整理できたのだと思います。そうでもない方は、「今更、そんなことわかっているから書かなくてもいい。」とか「めんどろ、だから書きたくない」という思いの方もいらした様に思います。

アンケート結果 回収率 100%

▲年齢：①80代 (23人) 82% ②70代 (5人) 18%

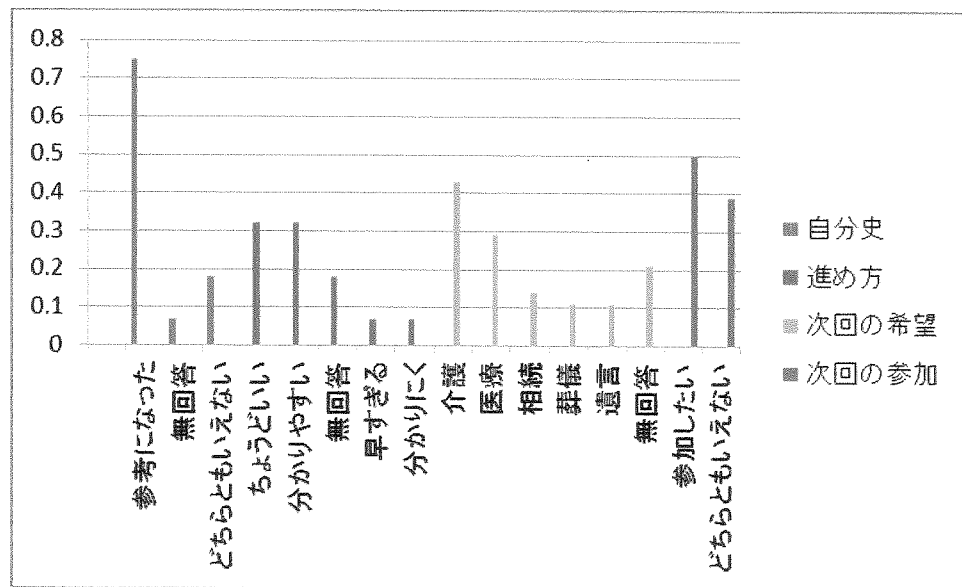
▲感想：①参考になった (21人) 75% ②どちらともいえない (5人) 18%  
③無回答 (2人) 7%

その他：「再確認することができた。」「何も考えていなかったので助かった。」「すべてが大切な事ばかり、身近整理にゆったりしたいが急がなければならない。」「簡単なんようで難しかった。」

▲次回の希望 (複数回答あり)：①介護 (12人) 43% ②医療 (8人) 29% ③無回答 (6人) 21% ④相続 (4人) 14% ⑤葬儀 (3人) 11%、遺言 (3人)

▲進め方：①ちょうどいい (9人) 32% わかりやすい (9人) 32% ③無回答 (5人) 18% ④早すぎる (2人) 7%、わかりにくい (2人) 7%

▲次回の参加：①参加したい (14人) 50% ②どちらともいえない (11人) 39%  
③無回答 (2人) 7%



反省点やまちづくりへ向けた意見等

※活動を通して得た反省点、次の活動へつなげる提言、まちづくりへ向けた意見等を記載してください。

- ・「話すことは、出来るけど、書くのは難しい」と言われたことについて  
高齢者には、文章をまとめることが難しくなっていることが考えられるため、時には、聞き取りで書いていく方法検討したい。
- ・「なんとなく、漠然としていたことが鮮明に整理できた」と言っておられて方に対しては、講座を行った意味があったと思っています。
- ・今後の課題は、「そんなことわかっている」「めんどろ、だから書きたくない」と思っている方に「大切なあなた自身の生きて来た歴史を残してみませんか」訴えるにはどう、活動していけばよいのか模索中です。

「高齢者元気会」の中の私を含めた会員が「話し相手」という取り組みをしています。その中で、得た当事者の話を「自分史」という形で聞き取りで書いていくことは、できないものかという思いもあります。これについては、個人情報など問題点もあるのではと思いますので助言をいただきたいと思っています。

別紙決算書（当該年度分）を必ず添付してください。

その他、活動の実績を理解するために参考となる資料（チラシ、記事、写真、アンケート等）があれば添付してください。